【会場/オンライン対応】リスクマネジメント実践　開発編（4221031）

リスクマネジメント成功の鍵は問題が表面化する前に、プロジェクト計画段階でリスク要因を抽出・分析し対策を施すことにあります。今回の研修では、リスクに気づく力、読み出す力を学びます。「プロジェクト計画段階でのリスクマネジメント計画」、「リスク識別」、「定性的・定量的リスク分析」、「リスクの監視コントロール」などについて講義と、具体的なケーススタディを通してリスク管理の重要性について理解を深めていきます。

カテゴリー	IS戦略実行マネジメント・プロジェクトマネジメント 専門スキル
講師	中谷英雄 氏 （株式会社ピーエム・アラインメント 取締役　ビジネスコンサルティング部長 ） PMI認定PMP 2013年 米国PMI最優秀教育プロバイダー認定 スクラムアライアンス認定スクラムマスター（CSM） プロダクトオーナー（CSPO） ＜略歴＞ １．BIPROGY（旧：日本ユニバック）（１９８３年～） ２．三井住友信託銀行（旧：三井信託銀行）（１９９０年～） ３．ピーエム・アラインメント（２００６年～現職） ・主に金融ＩＴ大規模プロジェクトのPMO支援に従事。 ・その後大学院でデザインマネジメントを学び、社会課題の解決、金融商品の開発等でデザイン、アート、顧客体験等を活用。 ・現在、新事業創出、デザイン戦略、イノベーションとDX推進に関わる諸テーマを中心に、コンサルティング活動、教育活動を展開している。 ＜研究会活動＞ ・組織のダイナミズム研究会（ODSG）会員 ・震災復興関連のNPO向けに、イノベーションプロセスの活用支援展開中 ＜PM関連書籍著＞ 監修 PMI 日本支部 「PMツールの実践的活用」プロジェクト 翻訳メンバー PMIプログラムマネジメント標準 第2版
対象	プロジェクトマネージャー、プロジェクトマネージャーを支援する上位管理者、もしくは、プロジェクトマネージャーの経験がある方 企業内研修専用 中級
開催形式	講義、グループ演習
定員	25名
取得ポイント	・PMP資格取得者の方へ：PDU取得修了書を発行いたします（6時間×2日間　計12PDU）

主な内容

・日数：２日（６時間/日）
・開催形式：会場 / オンラインどちらでも対応可能

リスクマネジメント成功の鍵は問題が表面化する前に、プロジェクト計画段階でリスク要因を抽出・分析し対策を施すことにあります。
今回の研修では、リスクに気づく力、読み出す力を学びます。
「プロジェクト計画段階でのリスクマネジメント計画」、「リスク識別」、「定性的・定量的リスク分析」、「リスクの監視コントロール」などについて講義と、具体的なケーススタディを通してリスク管理の重要性について理解を深めていきます。

◆内容・スケジュール◆
※内容は変更する場合がございます。

1 リスクマネジメントの概要
　リスクとリスクマネジメントの本質論

2 リスクマネジメント計画（講義、事例の解説）
　何故計画が必要なのか、誰をリスク会議に参加させるのか？

3 リスク識別（演習）
　リスクを特定する様々な手法を理解する

4 定性的リスク分析 （演習）

5 定量的リスク分析（演習）
　＜ケーススタディ１＞
　要件定義完了時 失敗事例を通じて、ロジックツリー技法で原因分析を行い、リスク事象、影響、
　発生確率を導く方法を身につける

6 リスク対応計画 （演習）
　予防策とコンティンジェンシー対策は、何が異なるのか、いくらままで投資すべきかを理解する

7 リスク監視とコントロール（講義）
　リスクマネジメントが成功している事をどう判断するのかを理解する

8 リスクとリスクマネジメントの具体的な事例（講義）
　・総額規模２３０億円のプロジェクトをゼロから、リスクマネジメントの立上げと運用方法を理解する
　・極めて小規模の複数プロジェクトのリスクマネジメントにお金をかけずどうリスクマネジメントの実践方法を理解する
　・リスクマネジメントの成熟度を向上させることは、変革である。その変革をどう進めるのかを理解する

＜ケーススタディ２＞
　基本設計完了時 失敗事例を通じて、チェックリストを活用して、原因分析を行い、リスク事象、影響、
　発生確率、対策を導く方法を身につける

〈受講生の声〉
・初歩的なリスクの抽出方法や段階的に成熟度を上げていく方法を知ることができて良かったです。
・リスクの計画から管理方法まで一連の流れを理解でき、ワークでの経験により理解を深めることが出来た。
・教科書的な理論だけでなく、日本の文化や講師の実務経験に基づいており、
　演習の時間もバランスよく割かれており、直ぐに実践できる良い内容だったと思います。
・リスクマネジメント研修としては十分なコンテンツが含まれているものと感じました。